

2025年2月18日

各 位

株式会社福井銀行
ふくいヒトモノデザイン株式会社

**観光庁主催『サステナブルな旅アワード』特別賞 受賞のお知らせ
～地銀グループの地域商社での本アワードは初受賞～**

福井銀行グループの観光地域商社であるふくいヒトモノデザイン株式会社（本社：福井県福井市順化1丁目1番1号 代表取締役社長：小畑善敬、以下、「当社」）は、観光庁が主催する『サステナブルな旅アワード』にて、特別賞を受賞しましたのでお知らせ致します。

サステナブルな旅とは、単に旅行を楽しむだけではなく、観光により旅行先の地域資源を持続的に保ちながら、そこに暮らす人々の生活も豊かになるように考えられた旅のことです。旅行先の文化や環境の保全を考え、現在および将来において持続可能な社会をつくることに寄与するような旅が重要になってきています。コロナ禍を経て、旅行者の意識は変化し、持続可能な観光（サステナビリティ）に対する意識が高まりつつあり、観光庁において、2023年から優良な旅行商品・取組みを広く表彰する「サステナブルな旅アワード」を創設されました。

当社は、福井銀行の100%出資のグループ会社として、福井銀行の企業理念である「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を果たしていくことを目的として各種事業活動を行っています。

観光事業においても、旅行者、観光関係事業者、受け入れ地域にとって、「環境」「文化」「経済・産業」の観点で、持続可能かつ発展性のある観光を目指し、より良い地域づくりに取り組んでいます。

今回『サステナブルな旅アワード』において当社企画のプランが、【特別賞】を受賞いたしました。道元禅師が禅を伝える道場を京都から越前に遷される際、入越に当たって永平寺開創の拠点とされたお寺「吉峰寺」が主要舞台です。郷土料理や農作業などを通じ、地域の生活に根付いている禅の文化や精神を感じてもらい、廃棄される布や糸を使った坐禅クッション作りで地場の繊維産業に触れるほか、吉峰寺僧侶との対話の時間も設けるプランです。

地域金融機関のグループが取り組む意義や新たな事例であることも高い評価をいただきました。



■ 『サステナブルな旅アワード』

https://www.mlit.go.jp/kankocho/kobo06_00014.html

『サステナブルな旅アワード』 特別賞

縁（えにし）の旅 ～「三方よし」から、「十方よし」へ～

<概要>

禅の道場として名高い大本山永平寺を源流とする教えや息吹を自然に吸収し、文化として醸造してきた永平寺町。精通するガイドにより地域の生業にも触れながら、育まれてきた“縁（えにし）”に自ら縁を結び、限りない縁の世界に導かれていく。縁の中に在る実感が感謝へと変わる旅を提供いたします。

この旅の主要舞台となるのは、京都から越前に禅を伝える拠点を移された道元禅師が、新天地となる永平寺開創前の一年間を過ごされた吉峰寺です。今も永平寺の修行僧数名が地域住民とのご縁も大切にしながら修行に励んでいます。この地に身を委ね、坐禅や精進料理を体験し、地域の方との触れ合いを通じて、豊かな縁の世界に包まれてみませんか。



古き良き里山の暮らしと向き合う

日本の古き良き里山の在り方として、受け継がれてきた暮らし。地域住民との交流とともに、地域で受け継がれてきた生業や文化（季節や時期に応じた農業体験、郷土料理づくり体験、伝統行事体験等）を学びます。



布の命と向き合う坐禅クッションづくり体験

地場産業である繊維会社にて、製造工程の関係で廃棄されてしまう布や糸を活用した坐禅クッションづくり体験。禅の教えの1つでもある「ものの命を大切にする」ということについて実践する特別体験プログラム。世界でひとつのオリジナル坐禅クッションは持ち帰ることができ、参加者各自のライフスタイルの中でも活用できます。



吉峰寺僧侶とともに食との向き合いおよび対話

「いただきます」「ごちそうさまでした」は、日本人に馴染みの深い言葉であり考え。禅僧が唱える『五観の偈』を通して、より実践的な食事への向き合い方を学びます。食事に対する姿勢や食生活の見直しの機会とするとともに、僧侶との対話を通して、参加者自身の日常生活をより良く生きる学びを得る機会にもなるでしょう。



■審査委員長による「特別賞」への講評

「禅の精神を学び“縁(えにし)への感謝”を知る旅」

地域の金融機関のグループ会社ならではの地域に寄り添ったユニークな企画内容である。永平寺町を舞台に地域に根付く禅の精神文化や生業に触れることで来訪者の価値観の変容を促すことを意図している。地元住民との交流を通して学ぶことに多くの時間を割いているのも特徴で、地元出身者が地元の関係団体等と連携して企画内容を詰めているので地元目線でのツアー構成となっている。企画・ガイド担当者の「本ツアーでの経験や学びが、来訪者の実生活での具体的な行動に役立って欲しい」という強い思いが伝わってくる。ツアーの最大参加人数を5人と少数に制限していること、地域とのミスマッチを防ぐ為に、広範な広告宣伝を行わず、関心のある旅行者や旅行会社に対して十分なコミュニケーションを重ねながら取り組む姿勢も納得できる。コンセプトがよく練られていて内容にブレはないが、このような精神性に踏み込んだ深い内容のツアーをどのようにして求めている人に届けるのが課題であろう。“縁が限りなく広がっていく”ことを願うばかりである。

*ふくいヒトモノデザイン(株)は福井銀行の100%出資の子会社 2022年7月設立

北海道大学

観光学高等研究センター 客員教授

審査委員長

小林 英俊